



よしだつうしん

吉田通信

第66号
【2020年3月】

〒950-1475 新潟県新潟市南区戸頭1347-1 TEL:025-372-1138 FAX:025-372-1155

■■この吉田通信は私とご縁のあった方、ご縁をいただきたい方に差し上げている月一個人通信です■■

◆幹部の前で同じ話を10回??◆

こんにちは！お世話になります。吉運堂の吉田竹史です。吉田通信第66号をお送りいたします。よろしくお願いいたします。

さて、幹部とのコミュニケーションを図ることを目的に、実は数ヶ月前から幹部とサシ飲み（1対1の飲み会）をする機会を設けております。女性の方はサシランチ（1対1のランチ）です。幹部は約10人おりまして、月に1～2回のペースで、順番に回っていきます。

以前から幹部との飲み会はしていたのですが、1対複数で、その場で全員からしっかりと話を聞くことができず、1対1という形でやっていたと決めました。

ちなみに、このサシ飲み（ランチ）のときは、事前にテーマ（話題）を決めています。厳密には、一番最初に当たる幹部に、いくつもあるテーマの中から3つ選んでもらいます。「先生」「家族」「友達」「アルバイト」「趣味」「就職活動」「特技」「クラブ活動」「辛いこと」「楽しいこと」「試合」「先輩」「学生時代」「酒の失敗」「賭け事」の中から3つ選んでもらいます。

今回、選ばれた3つは「就職活動」と「楽しいこと」それから「試合」。サシ飲み（ランチ）は簡単なルールがあります。例えば、ビールを頼んで乾杯したら、まず、私がこの3つをテーマに15分から20分話します。私は昔、こうでしたと。次に、相手である幹部が同じように、この3つをテーマに15分から20分話します。そこからは、自然な流れで話を広げていきます。飲みの場合であれば1時間半から2時間、ランチであれば1時間くらいで終了です。

ちなみに、話をする3つのテーマは、15人が一巡するまで変わりません。理由は、同じ話をすることで、社長がどういう価値観を持っているのか、幹部全員に同じように伝えたいからです。

まだスタートしたばかりですが、同じ話を10回、頑張りたいと思います。



■追伸：次のステップとして、テレワークならぬテレサシ飲み（ランチ）も検討中です。コロナの影響で飲食店での実施が困難になれば、スマホのビデオ電話を使い、離れた場所にいながら画面を通じて実施できればと考えております。

◆発行者コラム◆

今回もまた、最後までお読みいただきどうもありがとうございました。さて、先日、高校生の息子の卒業式がありました。コロナの影響でだいぶ縮小され、参加するのは卒業生と親のみ。在校生はいませんでした。卒業生はひと席ずつ間を空けて座り、また国歌や校歌の斉唱はせず、その音楽が歌つきで流れるだけ。返事もなしという徹底ぶりでした。ただ、式が終わったらもう友達とわいわいやっており、また、そのまま帰らず遊びに行っていました…（汗）。吉田竹史

■吉田通信を今後ご希望されない方は、大変お手数ですが090-3339-0424までご連絡をお願いいたします。■

【発行者プロフィール】

名前：吉田 竹史（よしだ たけし）
生年月日：昭和40年8月21日（O型）
出身地：新潟県白根市（現・新潟市南区）
経歴：都内の学校を卒業後、証券会社（水戸 & ニューヨーク）の4年間の勤務を経て吉運堂へ。

趣味：上手くないゴルフ、強くない将棋（NHKの将棋対局を見ることは好きです）
家族構成：妻、娘、息子



吉田 竹史